

学校だより～特別号～

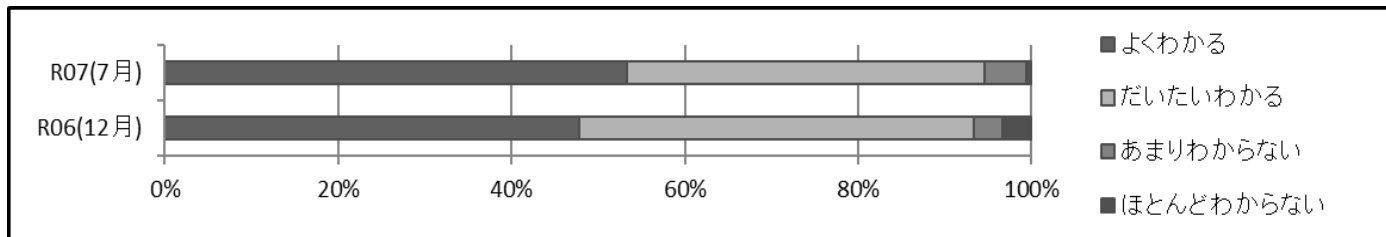
令和7年9月26日
京都市立池田東小学校
校長 上原 菜穂子

平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。このたび、令和7年7月実施の学校評価アンケートの集計結果がまとまりましたので、ご報告申し上げます。

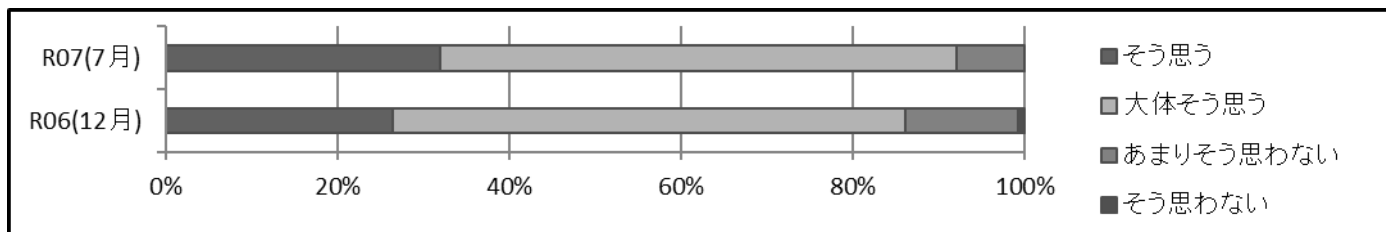
今回の保護者アンケートの回答率は、76.4%でした。ご協力ありがとうございました。今年度は、より実態に即した評価を行うため、アンケートの評価項目を一部見直し、新たな観点を取り入れました。そのため、昨年度の結果と単純に比較できない項目もございますが、いただいたご意見は真摯に受け止め、今後の教育活動の改善に活かしてまいります。今後とも、池田東小学校の教育活動へのご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

1. 学力について

<児童>授業はよくわかりますか。



<保護者>お子様は学習内容を理解している。



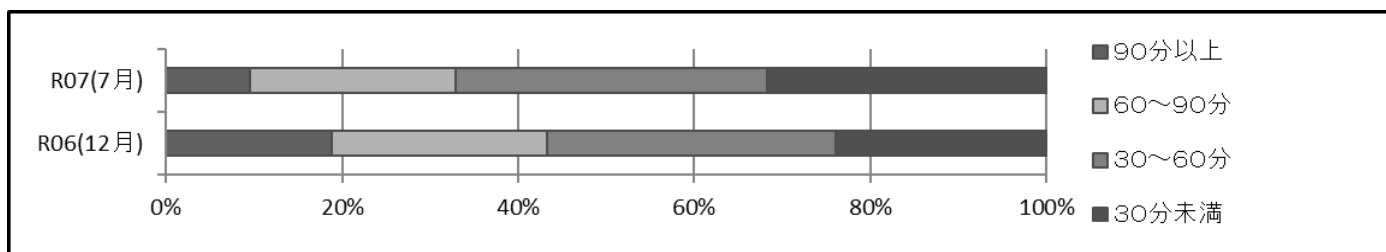
『学習内容の理解』に関する設問では、「よくわかる」「だいたいわかる」と回答している児童は95%と、多くの児童が学習内容を理解できている様子が伺えます。しかし、5%ほどの児童が、「あまりわからない」「ほとんどわからない」と回答していますので、個々の児童の習熟度を丁寧に見取りながら、個に応じた指導を工夫していきます。

保護者アンケートでは、85.3%の保護者の方から「そう思う」「大体そう思う」という回答をいただきました。今後さらにご家庭とも連携しながら、個々の学びを深められるよう取組を進めてまいります。

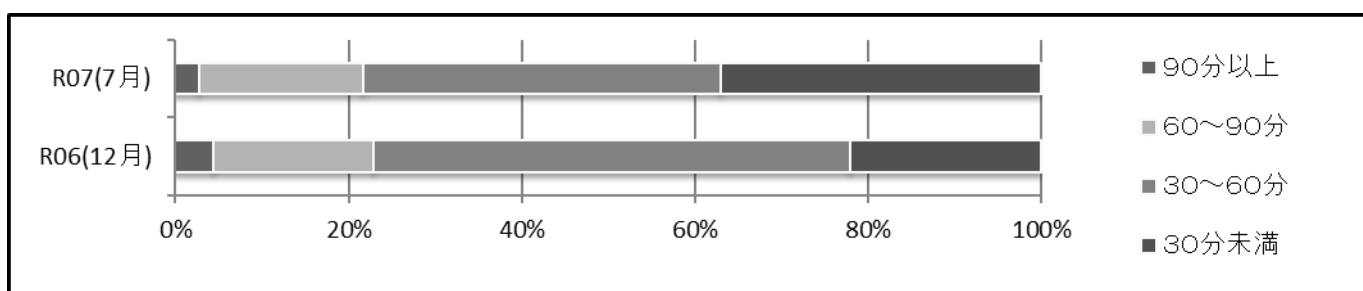
『話す・聞く』についての設問では、児童アンケートでは92%、保護者アンケートでは80.4%がプラス評価をしていました。『学習に対する意識』については、児童アンケートでは91%が、保護者アンケートでは77.6%がプラス評価をしています。児童と保護者の数値に差が見られました。家庭で見せる姿と学校で見せる姿のギャップがあるのかもしれません。

2. 家庭での学習について

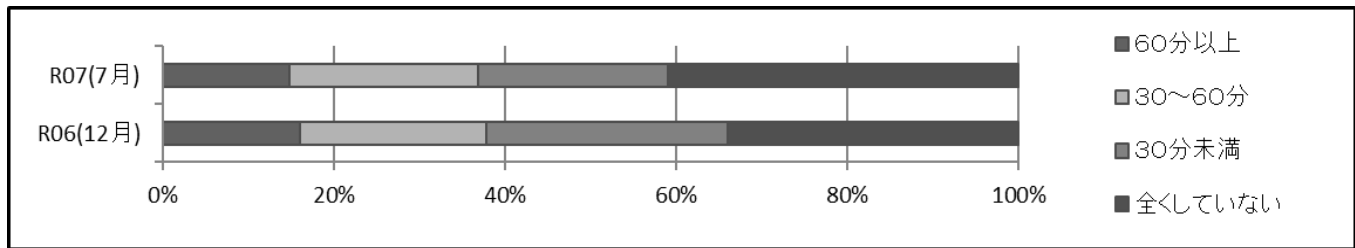
<児童>家での学習時間はどれくらいですか。



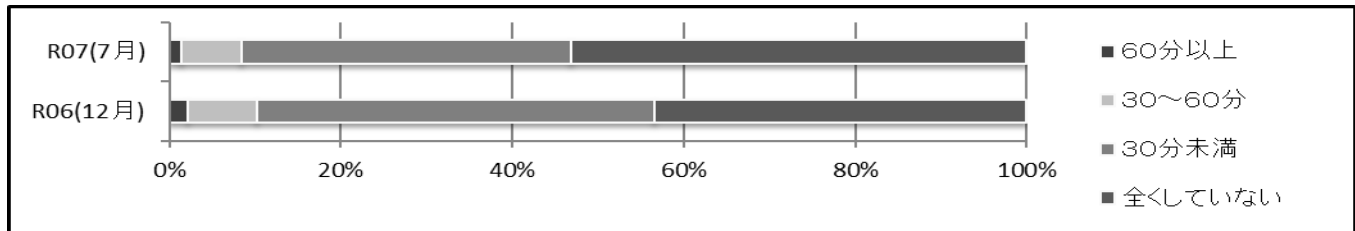
<保護者>お子様の家での学習時間はどれくらいですか(1日の平均)



<児童>家庭で読書をどれくらいしていますか。



<保護者>お子様は家でどれくらい読書をしていますか。(1日の平均)



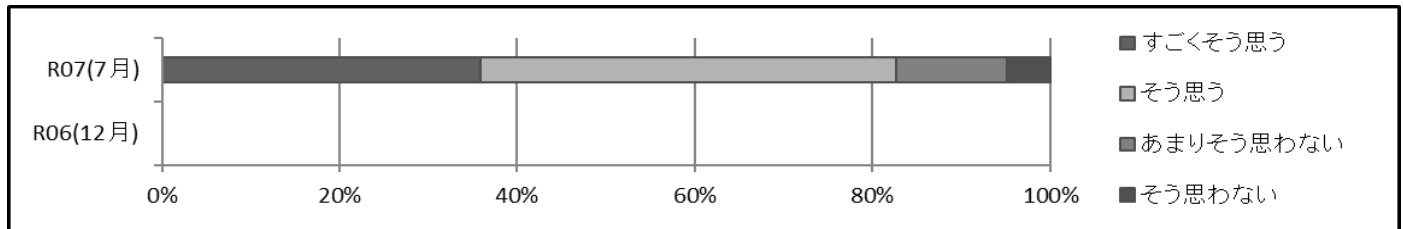
家庭での学習時間ですが、児童アンケートでは「90分以上」が9.6%、「60～90分」が23.4%、「30～60分」が35.3%、「30分以内」が31.7%という結果でした。しかし、保護者の方はその結果よりも短く感じられているようです。家庭での学習を定着させるために、一定の学習時間の確保ができるよう、ご家庭でもご協力をお願いします。

家庭における読書についてですが、児童アンケートでは、家庭で読書を「60分以上」と回答した児童は14.8%しかおらず、「30分未満」が22.1%、「全くしていない」が40.9%という結果でした。一方、お子様が家庭でどれくらい読書をしているかの質問に対し、「60分以上」と回答した保護者の方はほとんどおらず、91.6%が「30分以内」、もしくは「全くしていない」という結果でした。

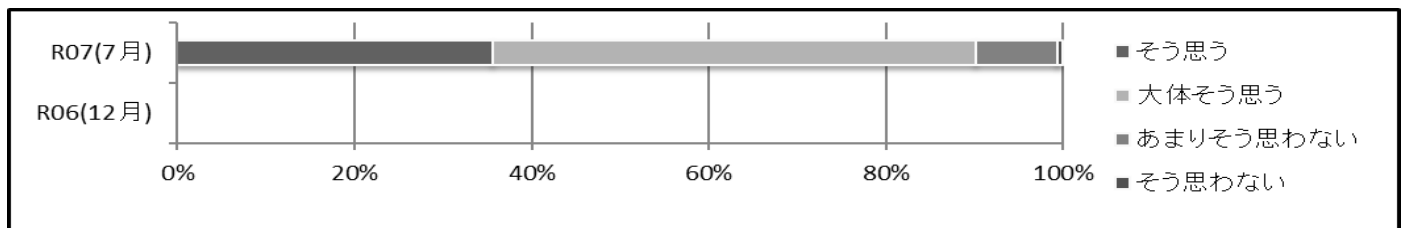
テレビやSNS、ゲームなどに時間を割いており、読書離れが一層進んでいるようです。学校では毎朝、朝読書の時間を設け、読書をする機会をつくっています。読書はとても大切です。お家でも、お子様と一緒に読書する時間をぜひ作ってみてください。

3. ユニット制について

<児童>ユニット制やフレンドリー活動、クラブ・委員会活動などで、色々な先生から学べることはうれしい。



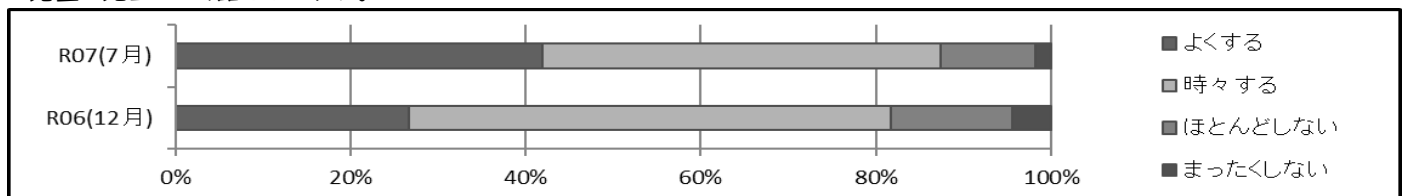
<保護者>ユニット制や専科制などを取り入れ、複数の教員が児童に関わることは、児童の支援につながっている。



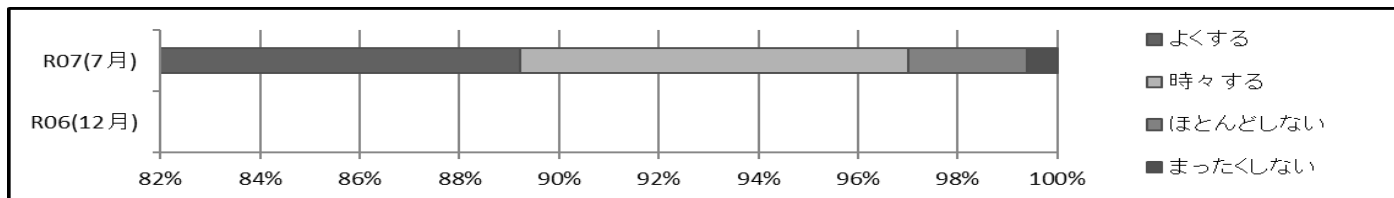
今年度新しく導入している「ユニット制」については、児童の82.6%、保護者の90.2%が肯定的にとらえています。今年度開始した取組ですので、まだまだ十分にその効果を感じることはできないかもしれませんが、2学期以降も本校ではそれぞれのユニットでの学習・活動を様々な場面で取り入れていく予定です。

4. コミュニケーションについて

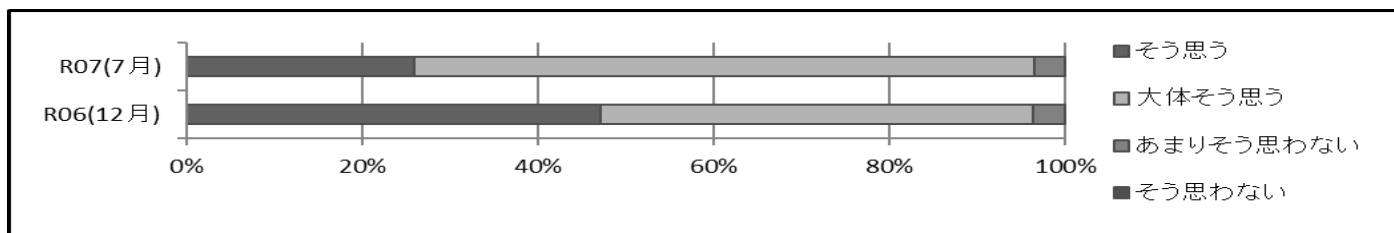
<児童>先生とよく話をしますか。



<児童>お家の人とよく話をしますか。



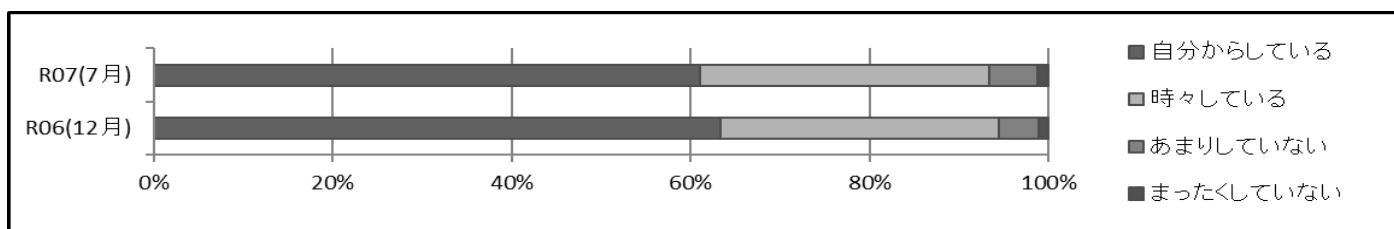
<保護者>児童に寄り添い、悩みを聞いたり相談に乗ったりしている。



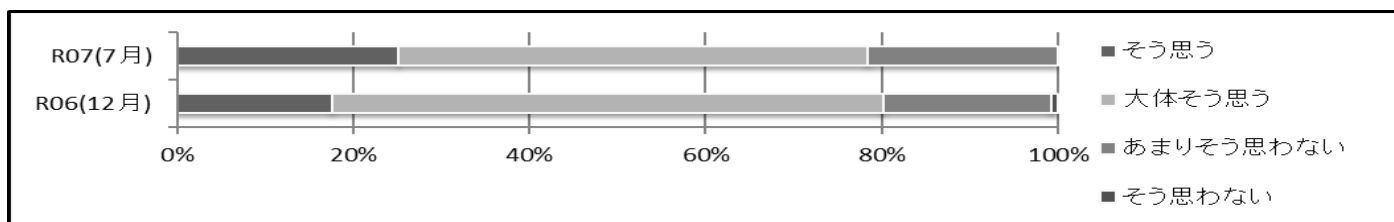
「先生をよく話をしますか」の児童アンケートでは、87.4%の児童が、よく話をすると回答しています。その反面12.6%の児童が十分に話をしていないと感じているようです。昨年度の12月のデータと比較すると、プラス評価が5.7%増加しています。一人ひとりを大切にし、さらにこの数値を上昇させることができるよう、本校でも取組を進めていきます。保護者アンケートでは、96%以上のご家庭でお子様と話ができていているという回答をいただいています。

5. あいさつについて

<児童>進んであいさつをしていますか。



<保護者>お子様は進んであいさつをしている。

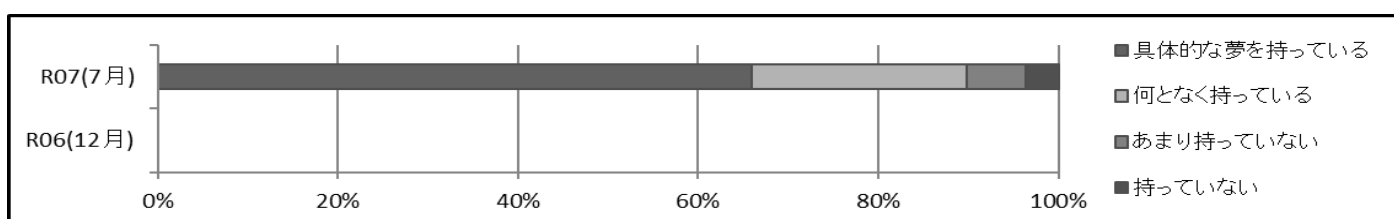


「自分からしている」と回答した児童が61.1%、「時々している」と合わせると94.6%に上るなど、ほとんどの児童が肯定的に捉えています。一方、保護者アンケートでは「子どもたちは進んで挨拶をしている」の質問について、「あまりそう思わない」と回答されている方が21.7%という結果でした。

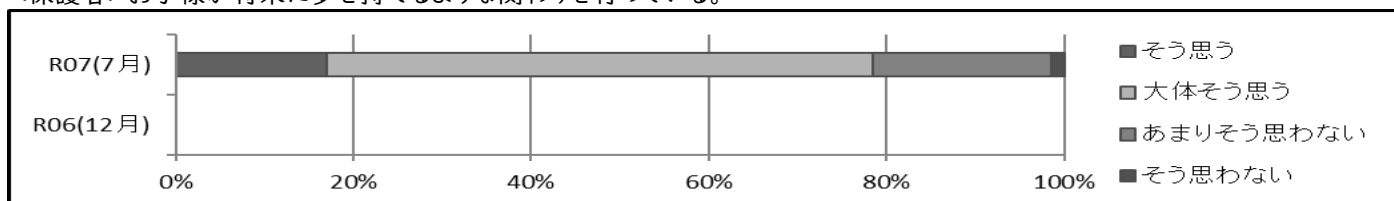
「自分ではしているつもりでも、相手には伝わっていない。」ということが大きな要因になっていると考えられます。学校内だけでなく、地域や家庭においても、相手に伝わる気持ちの良い挨拶(声・表情)を継続して実施できるよう、取り組んでいきます。

6. 将来展望について

<児童>自分の夢を持っていますか。



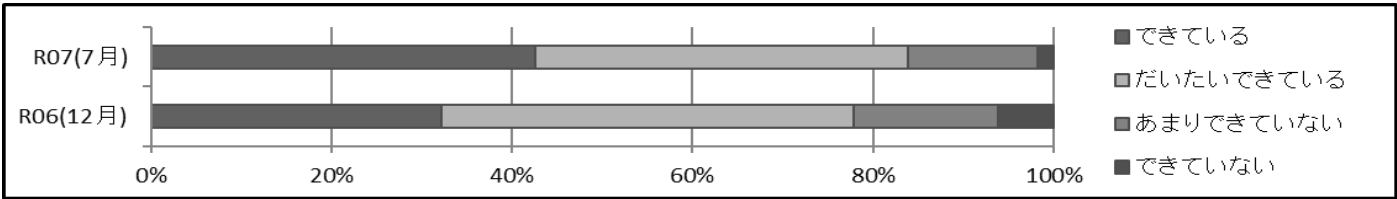
<保護者>お子様が将来に夢を持てるような関わりを行っている。



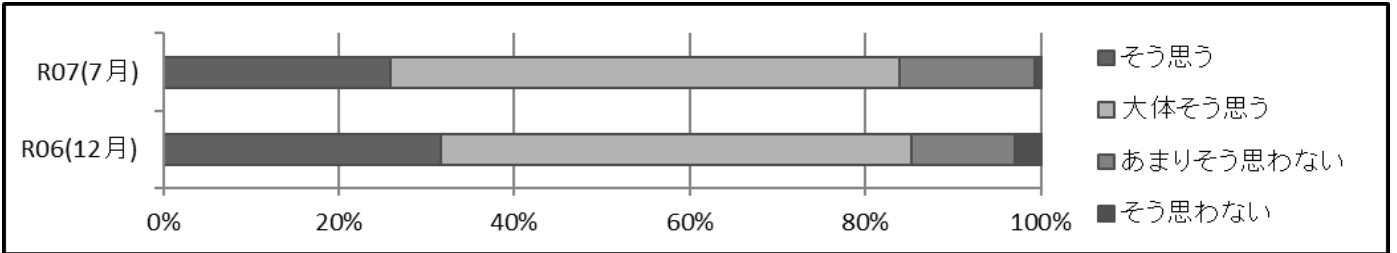
今年度、新たに導入した内容です。自分の夢を持っている児童が、およそ90%に上りますが、10%の児童は具体的な将来展望を描けていないという結果が見えてきました。主体的な学校生活を送るためにも、児童が将来の目標を持てるような取組の必要性を感じています。ご家庭でも、ぜひ話題にしてみてください。

7. 健やかな心と体づくりについて

<児童>早寝・早起き・朝ごはん等、規則正しい生活をしていますか。



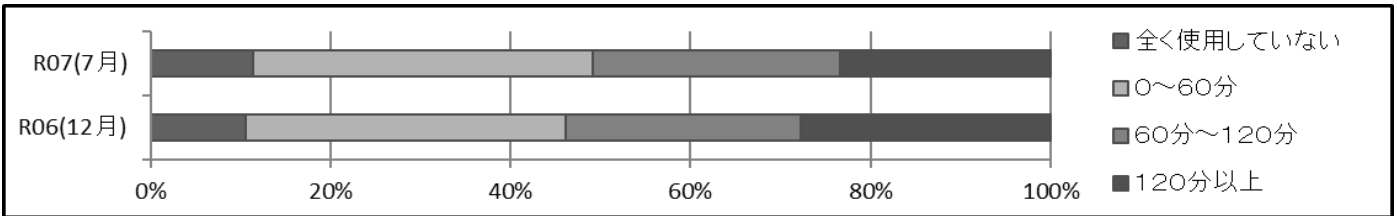
<保護者>早寝・早起き・朝ごはん等、規則正しい生活習慣が身に付いている。



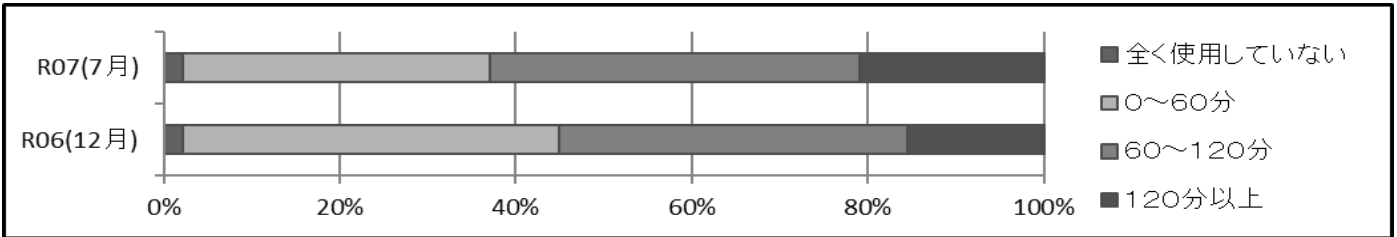
児童アンケートでは、「できている」「だいたいできている」が合わせて83.8%、「あまりできていない」「できていない」が合わせて、16.2%でした。保護者アンケートでは、「そう思う」「大体そう思う」が83.9%、「あまりそう思わない」「そう思わない」が合わせて16.1%でした。児童・保護者共にほぼ同じ数値となりました。多くの児童、保護者の方が規則正しい生活を送れていると感じている結果となりましたが、生活の乱れを感じている児童・保護者も16%ほどいることも分かりました。規則正しい生活を送ることで、睡眠時間も確保され、学校での学習効率も上がることが期待できます。また、学校では長期休業前と休業明けに、生活リズムを見直す「生活調べ」を実施しておりますが、結果等については保健だよりなどでお知らせしますので、またご覧ください。

8. メディアコントロールについて

<児童>ゲーム・スマホ・インターネット・SNS等の時間はどれくらいですか。



<保護者>お子様のゲーム・スマホ・インターネット・SNS等の時間はどれくらいですか。(1日の平均)



メディアを扱う時間については、児童アンケートでは60分以上の使用が50.9%とほぼ半数になっています。保護者アンケートではさらに高く、62.9%になっています。半数～3分の2の児童が、60分以上メディアを使用しているようです。

児童アンケートの「ゲーム・スマホ・インターネット・SNSなどのルールを守っていますか」という質問では、「守れている」「だいたい守れている」が合わせて76.2%でした。保護者アンケートの「ルールを決め、守らせている」では、「そう思う」「大体そう思う」が合わせて89.3%でした。児童が思っているよりも、保護者の方の感覚では、我が子にルールをきちんと守らせていると感じておられる結果となりました。

今年度もメディアコントロールデーを設け、保護者の方にもご協力いただきながら、メディアとの上手な付き合い方を考える取組を行っています。また、情報モラル教室など、外部の機関とも連携しながら、学年に応じた学習も進めています。様々なメディア機器は、子どもたちの生活の中に大きく入り込んできています。ご家庭でもゲームやスマホ、テレビ、インターネットやSNSなど、メディアに関するルールを話し合ってください、ご家族で一緒になってより良い使い方・付き合い方ができるよう相談してみてください。

他のアンケート結果についてはすぐるで配信いたしますので、そちらをご確認ください。